

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	JISQ1500 セミナー 【2020 新個人情報保護法対応】個人情報保護マネジメントシステム運用コース
主催者(団体)	一般財団法人 日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	日本規格協会ホームページでご確認ください。
総時間	4 時間
開催場所	日本規格協会ホームページでご確認ください。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020 年改正 新個人情報保護法を理解し、自社の個人情報保護マネジメントシステムを運用したい方</li> <li>・2020 年改正 新個人情報保護法の改正点を確認したい方</li> <li>・組織内部において、個人情報保護を推進する立場(事務局など)にある方</li> </ul>
定員	日本規格協会ホームページでご確認ください。
題目	
プログラム(次第)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第 1 講 個人情報保護主眼テーマの変換</li> <li>■ 第 2 講 2020 改正 新個人情報保護法と実務への影響</li> <li>■ 第 3 講 2020 改正点に向けた実務に即した対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の利用におけるポイント</li> <li>・個人データの管理におけるポイント</li> </ul> </li> <li>■ 第 4 講 2020 改正点に向けた実務に即した対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業者との関係</li> <li>・本人等への対応</li> </ul> </li> </ul>
内容	<p>個人情報保護法の改正が、2020 年 6 月 5 日に可決成立、6 月 12 日に公布されました。今改正では、個人情報に関する本人の権利が拡張され、事業者の義務が追加されています。これによって、個人情報を取扱う一般企業の業務に影響が生じるほか、パーソナルデータを解析し活用するアドテック(ターゲティング広告)、デジタルプラットフォームのサービスや業務フローにも影響を及ぼすと考えられています。</p> <p>法改正に対し過剰反応を起こすのではなく、改正の経緯やポイントを押さえながら、実務に即した対策を設計していくことが重要です。本コースは、個人情報保護法 2020 年改正の背景とポイントをおさえたうえで、個人情報保護マネジメントシステム運用の実務への影響や、リスクマネジメント等、必要とされる諸対応について実務ベースで学習できる内容となっております。</p> <p>「リスクを評価した上での対応」は、合理的な結果を導きます。JISQ15001、ISO27001 本文の「4 組織の状況」に登場する“グランドデザイン”に立ち返ることで、利害関係者のニーズ及び期待に即した、事業者としても納得のいく「個人情報の取扱い」が設計できる内容となっております。</p>

プログラムの目標	個人情報保護法 2020年改正の背景とポイントをおさえたうえで、個人情報保護マネジメントシステム運用の実務への影響や、リスクマネジメント等必要とされる諸対応について実務ベースで学習する。
CPD点数	10点
料金(税込)	一般: ¥19,800 維持会員: ¥17,820 ※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。
備考(問い合わせ先)	日本規格協会グループ 研修ユニット TEL: 050-1742-6287
詳細URL	<a href="https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/006/003/008">https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/006/003/008</a>